

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2026年3月17日

学部・学科名 外国語学部・英米語学科

担当教員氏名 吉本 美佳

1. 区分	中期留学 ・ <u>語学研修</u> ・ 海外実習
2. プログラム名称	春期マルタ研修
3. 渡航先国名	マルタ (イムシーダ)
4. 派遣期間	2026年 2月 7日 (土) ~ 2026年 3月 9日 (月) 31日間
5. 派遣先教育機関名	マルタ大学附属語学学校
6. 参加学生数	29名
7. 派遣目的	語学研修及び海外での文化体験
8. 派遣内容	マルタ大学付属の語学学校での語学研修と、午後及び週末に企画される文化施設や都市を訪れることによるフィールドワークや歴史学習。また大学の寮における異文化での生活体験を含む研修。
9. 成果	帰国後のアンケートでは、研修全般に関してすべての学生が肯定的な回答をしている。また授業や寮での生活についても高い満足度がわかる。ほとんどの学生がこの研修により英語の学習意欲の高まりを感じ、国際的なコミュニケーション能力を高める意欲を得たと記している。
10. 備考	中東紛争のため、帰国便の変更が必要となりました。帰国時に迎えに来た保護者全員より、今回の本学の対応について、感謝の言葉をいただきました。学科長、大学、そして引率者と連携をとりながら、参加者の安全を第一に動いている状況をご理解いただけたようです。関係いただいた皆様へ、オーガナイザーとして、心より感謝申し上げます。

以上

2025 年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について**必ず下記の 3 項目を含めた内容**のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は **200 字以上** をお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記 3 項目以外の内容を含めても構いません。

- ① この研修で得たことや学んだことを 3 つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどどのようなことでも良いです。
- ② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも 1 つ、具体例を挙げながら記入してください。
- ③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

私がこの研修を通して学んだことの一つ目は、知らなかったりわからないことがあったら恥じらわずに聞いた方が良いということだ。なぜなら、マルタでは日本語が通じることがなく、英語を使う、聞き取るしかない環境であり、意味がわかっていない状態で話を進めていってしまうと取り返しのつかない状態に陥ってしまうからだ。幸いなことに私はそのような状況にはならなかったが、最初の週はバスを使う際に必ずわかっているでも “Does bus go there?” と目的地を相手に見せてから乗っていた。なぜなら、万が一に備えてということもあるが、それ以上に自分の脳に分らなかつたら質問する、理解できるまで聞き返すという癖をつけさせるためでもあった。そうすることでリスニング力も鍛えることができたからだ。

二つ目に学んだことは、一人で行動し、考えることだ。なぜなら、グループで固まって行動していると誰か一人に頼り英語を使うチャンスを失ってしまうからだ。グループで行動することが悪いとは思わないが、英語しか使えない環境を自ら作ることで成長を促すことができるからだ。また、乗り物の乗り継ぎも一人で考えるので、バスが来ない場合の代替案を誰かに頼って考えることができないため、自ら考えて行動することが必要になるからだ。

三つ目はとりあえず話しかけてみることだ。なぜなら、海外研修前は人と話すことをあまり得意とせず、仲の良いメンバーでずっと固まっており、交遊関係があまり広くなかったからだ。しかし、マルタでの寮生活では周りがほとんど留学生ということもあり、シェアキッチン内では “How are you?” と挨拶があり、そこから会話に持ち込むのが容易だったからだ。また、出発前は英語を話すのを躊躇ってしまっていたが、マルタではめちゃくちゃな文法になってしまってもいいから、コミュニケーションをとることを意識したお陰で英語を話すことに躊躇いがなくなった。

この海外研修の経験を通して、今まで人に話しかけるのが不安だったが、きっかけを見つけとりあえず話しかけることに活かしていこうと思った。また、何か困り事が

あったら、直ぐに相談してみることもこれからの生活で活かしていこうと思った。

2025年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について**必ず下記の3項目を含めた内容**のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は**200字以上**でお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記3項目以外の内容を含めても構いません。

- ① この研修で得たことや学んだことを3つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどどのようなことでも良いです。
- ② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも1つ、具体例を挙げながら記入してください。
- ③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

①

私が今回の研修で学んだことは、まず他人との関わり方である。今回私は友だちと参加したのではなく、ひとりでこの研修に参加したため、周りの人はすべて初対面だった。私は人見知りな性格なので、最初は緊張してしまい、正直あまり楽しめていなかった。しかし、時間が経つにつれて徐々に素の自分を出せるようになり、最後には仲良くなったメンバーで夜に話すことができなくなることに寂しさを感じるほどになった。この経験から、自分から素の自分を出すことを意識し、多くの人と関わりを持つことで、良い関係を築くことができるのだと学んだ。

次に、多国籍の文化について学ぶことができた。私は今回初めてヨーロッパを訪れたこともあり、食文化や人との距離感、交通など、さまざまな違いに日々驚かされた。しかしその一方で、マルタでは昔からの文化や伝統を大切にしている様子も多く見られた。このように、国や地域によって文化や価値観は大きく異なるが、それぞれに大切にされている背景があるのだと感じた。今回の経験を通して、異なる文化を理解し、尊重することの大切さを学ぶことができた。

最後に、自炊や洗濯などを通して自立することの大切さを学ぶことができた。私は普段実家で暮らしているため、家に帰れば食事が用意されていて、洗濯もされていることが当たり前だと思っていた。しかし今回、自分で家事を行う生活を初めて経験し、これまで当たり前だと思っていたことが決して当たり前ではないのだと気付かされた。この経験を通して、日々支えてくれている家族への感謝の気持ちを改めて感じる事ができた。

②

この研修を通して、英語で会話することへの抵抗感を減らすことができた。出国前までは、英語で会話することが私にとってとても苦手で、話すことに対して後ろめたさを感じるほどだった。そのため、学校の英語の授業でもあまり発言することはなかった。しかし、今回ランゲージスクールで他国籍の人たちの授業に対する積極的な姿勢を見たり、さまざまな国籍の人と実際に会話したり、英語で話す機会を多く経験したことで、英語を話すことへの抵抗感を徐々になくすことができた。その結果、授業で自分から発言したり、他国籍の人に自分から話しかけたりすることができるようになった。また、レストランでは料理について

「これはどのような料理なのか」を自分から質問したり、店員の方との世間話にも積極的に参加して会話をすることができるようになった。出発前の自分と比べると、英語でコミュニケーションを取ることに大きく成長したと感じている。

③

私はこの研修を通して、外国の文化や価値観の違いの面白さや、英語を通してさまざまな国籍の人と関わることの楽しさに改めて気づくことができた。ランゲージスクールでは、同年代だけでなく様々な世代の外国人と触れ合う機会があり、それぞれが異なる目的や背景を持って学んでいることを知った。その経験から、人の生き方や将来の方向性には様々な形があるのだと気付かされた。また、今回の経験を通して、英語は単なる言語ではなく、異なる文化や価値観を持つ人々とつながるための大切な手段であると感じた。そのため、これからは英語でのコミュニケーション能力の向上に努めるだけでなく、英米圏に限らず様々な国の文化や価値観、言語についても積極的に学んでいきたいと考えている。そして、今回の研修で得た異文化理解や積極的にコミュニケーションを取る姿勢を、これからの学生生活や将来にも活かしていきたいと考えた。

2025 年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について**必ず下記の 3 項目を含めた内容**のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は **200 字以上** をお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記 3 項目以外の内容を含めても構いません。

- ① この研修で得たことや学んだことを 3 つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどどのようなことでも良いです。
- ② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも 1 つ、具体例を挙げながら記入してください。
- ③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

この海外研修に参加して学んだことの 1 つ目は自信を持つことの大切さです。留学に行く前は「いけるっしょ」ぐらいの軽い気持ちでいたのですが、授業が始まった最初の 1 週間、あまりのついていけなさに自信をなくし、コミュニケーションを取ることさえ怖くなってしまった時がありました。けれど、相手の話を聞く姿勢を持って、頑張っただけで喋ろうとすれば、相手も自分の話を理解しようとしてくれて焦らなくていいんだと、クラスの仲間に出会って感じました。

2 つ目は、勉強は裏切らないということです。私たちと同じ時期に早稲田大学と横浜国立大学からも留学に来ていました。彼らは広告や、ビジネス、建築など普段英語を専攻している訳ではないにも関わらず、普通に授業についていけていて、コミュニケーションが取れていました。そんな一面はこれまでの勉強という努力で積み重ねてきたものが今あるからなのだと感じました。彼らの姿を見て、これから先長期留学に行くにあたって、もっと勉強をする必要があるなと感じたし、自分も頑張ろうと仲間のおかげでモチベーションがあがりました。

3 つ目は授業のスタイルです。日本では先生に聞かれて手を挙げて当てられて答えるという段階がありますが、海外のスタイルでは聞かれた瞬間にわかる人たちが一斉に喋り始めます。一見自分が喋らなくていいからラッキーというふうにも捉えられますが、みんなが理解していることが顕著にわかるからこそ、ついていけないこと

への焦りを感じやすいです。自分は積極的に発言することが得意ではないので、その勢いに圧倒されて最初は驚きましたが、いつの日か自信を持ってこの輪に参加できるような力をつけたいなと同時に思いました。

1ヶ月という短い時間で、辛いと感じる瞬間もあったけれど、行ってよかったなという気持ちの方が大きいです。出発前は留学は気力さえあれば行けるものだと思っていました。確かにそれは間違いではないけれど、それと同時に自分の学力がその気力を支えているのだなと感じました。特に私は授業の中でそれを強く感じました。自分より遥かに上手にコミュニケーションを取り、自信を持って発言する他の生徒をみて劣等感を抱き、自分がいかに勉強が足りていないかを実感しました。しかし、今回留学に行ったことで自分の未熟さに気づき、本気で勉強しようというモチベーションに繋がったと考えると、その状況を経験できてよかったなと感じています。

今回の留学の経験が、向上心アップにつながり、努力するということの大切さを教えてくれた貴重な経験になりました。MULS の明るい先生方や、クラスの仲間、優しい街の人たちのおかげで一生思い出に残る 1ヶ月になりましたし、色んな国に行ってみたいなという気持ちになりました。これから先、自分の英語に自信が持てるようになるまで英語力をあげて、満足のいくコミュニケーションができる自分になれるようこれから本気で努力をしていこうと思えるそんな留学になりました。